

## 第4回八幡市まち・ひと・しごと創生検討懇談会会議録（要旨）

○日 時：令和2年2月28日（金） 14：00～

○場 所：文化センター 3階 講習室2

○内 容：

- 1 開会
- 2 協議・報告
  - (1) 今後の策定スケジュールについて【資料1】
  - (2) 第2期総合戦略の中間案について【資料2】
  - (3) 第2期総合戦略へのパブリックコメントの実施について【資料3】

### （1）今後の策定スケジュールについて

事 務 局：令和2年6月の策定に向け取組を進めているところ。

本日の審議の後、4月に実施するパブリックコメントにて市民の意見を聞き、新市長の新規施策等の反映を検討したうえで最終案を固め、5月中旬に委員の皆様へ示す予定としている。

### （2）第2期総合戦略の中間案について

#### 【 P.3～9：八幡市の地方創生の現状 】

事 務 局：市内で外国人が増加している傾向にあるが、人口減少・少子高齢化の現状、就業等の状況において、この傾向を踏まえた内容を加えるべきか。ご意見いただきたい。

委 員：増加の現状を踏まえ、傾向だけでも記載しておくべき。

#### 【 P.10・12：基本コンセプト・全体像 】

委 員：全体像において、基本コンセプトの記載場所を最上段に移すなど、目立つ場所へ記載すべきと考える。

委 員：「輝くまち」とするには生産年齢人口の増加に向けた取組が必要であると考えますが、プロジェクト全体像に見受けられない。プロジェクトとして掲げてはどうか。

事 務 局：プロジェクトとして掲げてはいないが、「住んでよしのやわたチャレンジプロジェクト」内に、新名神の全線開通を活かした雇用環境の創出等を図る施策を設けている。

- 委員：施策の設定はあるとのことだが、意見にあるよう、「住んでよし」と「雇用環境の創出」は直結しにくいようにも感じる。分かりやすい見せ方を検討することも一つでは。
- 委員：基本コンセプトの文字色を緑色から変更すべきと考える。いいコンセプトであると感じているので、より目立つような色にしてはどうか。
- 委員：P25「住んでよしのやわたチャレンジプロジェクト」において、産業の発展に関する具体的施策についても打ち出してはどうか。

### 【 P.13～16：やわた子ども未来プロジェクト 】

- 委員：昨日報道された新型コロナウイルス感染症の影響による休校に対する保護者の動揺を目の当たりにしたこともあり、働く大人の子育てサポートは非常に重要な取組だと改めて感じた。学童保育の取組だけでは、働く大人のサポートとしては弱く感じるため、取組を強化する必要があると考える。
- 事務局：放課後児童健全育成施設いわゆる学童保育に関しては、夏休み等の長期休暇時と同様に早期受入を実施するなど、支援策を講じているところ。
- 委員：長期休暇時の対応だけでなく、それ以外のサポートを求める声が増えているのかもしれない。学童保育実施場所等で検証し、ニーズを把握してはどうかと考える。
- 委員：こどもわくわく教室は実施する学校を増やすということか。
- 事務局：教室は学校単位で開催しているものではなく、華道や茶道などの教室を指しており、実施する学校を増やす内容ではない。
- 委員：P16（3）「④働く大人の子育てサポート」を見て、子育てが終わった後の女性をサポートする視点があってもよいのではと感じた。子育て後の女性が輝ける施策について検討してみてもは。
- 委員：子育て後の女性が輝ける施策を独立させることは難しいと考える。一つの意見として受け止めたい。
- 事務局：P25「住んでよしのやわたチャレンジプロジェクト」内の（2）「人と人が支え合う暮らしの絆づくり」における共生社会の推進の中で、男女共同参画などの取組を含めており、この中で対応できるのではと考える。
- 委員：P16（3）「①妊娠・出産・子育て環境の整備と充実」において、「妊娠・出産から子育てまで」と記載すると、「子育て」は「女性が行うもの」と直結するよう感じる。表現を変えた方が良く考える。

### 【 P.17～20：やわたスマートウェルネスシティプロジェクト 】

- 委員：スクラップ&ビルドではないが、事業を増やすだけでなく、事業の必要性を検証し、見直す取組も必要ではないか。
- 委員：「やわた未来いきいき健幸プロジェクト」のような目玉の取組をもっと前に押し出してはどうかと考える。
- 事務局：具体的施策の P13 「(3) 誰もが気軽に参加できる健幸プログラムづくり」をはじめとして、施策及び事業に記載をしている。
- 委員：歩数計や体組成計を活用し、インセンティブが付与される取組である旨、具体的事業の記載を見直し、「やわた未来いきいき健幸プロジェクト」をより押し出す必要があるのでは。
- 委員：P17「やわたスマートウェルネスシティプロジェクト」において、注釈が多く、記載内容が分かりにくいと感じる。仕方がないことだとは分かるが、上手く表現できないか。
- 委員：委員の意見は市民も感じる場所である。見直す必要があるのでは。

### 【 P.21～24：訪れてよしのやわた魅力向上プロジェクト 】

- 委員：基本目標にて、観光情報ハウスへの外国人来訪者（アジア、欧米など）の内訳を明記してはどうか。質の高い観光施策を目指していくのであれば、内容を具体的に記載すべきではないか。
- 小西委員：観光サイクリングの利用者が多いように感じている。基本目標が少ないように感じるため、指標に加えては。
- 委員：観幸の取組としては、民間企業の取組もあり、指標を増やすことは困難かもしれないが、もう少し目標が増えればよい。事業は出揃ったように感じるので、どう展開していくかが課題ではないか。
- 委員：基本的方向に関係人口の記載があるが、関係人口のイメージがはっきり分らない。注釈を入れることで分かりやすくなるのではないか。また、観光情報ハウス以外のインバウンドを図る KPI があれば良いと考える。

### 【 P.25～29：住んでよしのやわたチャレンジプロジェクト 】

- 委員：表題の記載について、「多機能な力を有したまち」が分かりにくいいため、検討してほしい。
- 委員：自治会の視点を踏まえると、町内の行事に参加し、一人で家に閉じこもらないことが住みやすいまちのイメージにつながると考える。指標において自治会への加入促進の取組を加えてはどうか。
- 委員：P29 (3) 「①八幡発の創業の推進」にて事業を継ぐ後継者のための事業創造、事業継承に関する施策が入っていない。

- 委員：具体的施策である「やわた EDISON チャレンジ」において、事業継承支援に関する施策を取り入れることを検討してはどうか。
- 委員：P27（3）「③自然と調和したまちの魅力の創出」について、農業に関する事業の記載がある。地域の農作物を見て楽しめる道の駅のような場所があればと考えるが、市内に存在するか。
- 事務局：道の駅は市内にない。ただ、川の家をイメージし建てた四季彩館という場があり、道の駅のように農産物の直売を行っている。
- 委員：農業を市民生活との関わりを持たせるような事業が必要と考えるので、四季彩館で農産物の直売を行っているようなことなど PR について検討してはどうか。
- また、P13「やわた子ども未来プロジェクト」にて議論があったように、女性の活躍の支援や子育て後の女性が輝ける施策について、P24（2）「③資源を活かした周遊・体験・滞在型の広域観光の推進」から伝わりにくいように感じる。加えて、P27「環境と調和したしごとの創出」という表現は、まちづくりを進めるうえで表現的に弱いイメージを感じる。「環境の変化に応じた元気なまちの創出」のような表現にしてはどうか。

### 【 全体を踏まえて 】

- 委員：市の名前を売り込む取組は非常に大事と考える。戦略に盛り込んでどうか。

### （3）第2期八幡市まち・ひと・しごと創生総合戦略への

#### パブリックコメントの実施について

- 事務局：募集期間は、4月上旬から中旬まで実施する。（※資料に誤り）
- 広報やわたに概要を記載し、HP には全文を記載する予定である。意見の活用については、懇談会の中で結果を報告したいと考えている。